

## 式 辞

卒業生の皆さん ご卒業おめでとうございます。

本日ここ武庫川女子大学から、新たな一步を踏み出そうとしている皆さんに心からお祝い申し上げます。

本来であれば、この門出の時を長きにわたり皆さんを支えてこられた保護者の方々とともにお祝いしたいところではありますが、このたびは感染防止の観点からご臨席についてご理解・ご協力を賜ることとなりました。この4年間（薬学科においては6年間）にわたり、ご息女の教育を本学に託してくださいましたことに心より感謝を申し上げます。

さて、本日の卒業証書・学位記授与式は皆さんの人生において、学生から社会人への大きな節目となります。そして後にきっと“この時”が時代や社会の大きな転換点であったと記憶に残る特別な日となることでしょう。

いま、時代や社会の転換点と申し上げたのは、これまで経験したことのない新型コロナウイルス感染症拡大下での学びに関連しています。振り返れば、一昨年の冬から始まった感染症の拡大はまたたく間に世界中に広がり、人々のあらゆる活動は停滞を余儀なくされました。

皆さんも学生生活において様々な不自由を強いられました。オンライン授業の導入、対面授業との併用など、学生、教職員が創意工夫を凝らし、決して後ろ向きになることなく、前を向いて歩み続けた日々でありました。その中で積み重ねてきた多くの経験や知識は、大学という狭い社会だけでなく、これから活躍される一般社会においても大きな力となるに違いありません。

すでに社会はウィズコロナ、ポストコロナを目指して動き出しており、デジタル化やICT、人工知能AIの導入、そして、それに伴う大きな変革の波が押し寄せてきています。例えば、人の働き方は通勤からテレワークへ、住まいは都会から地方へ、これから発展する企業や仕事と、衰退する企業や仕事の峻別など、加速度的に社会の有り様は変化していくことになるでしょう。このような中、卒業する皆さんは変革する時代の転換点にトップランナーとして、社会に出ることになります。その時には、この武庫川女子大学の卒業生であることに強い誇りと自信を持って下さい。

本学は初代学院長・校祖 公江喜市郎先生、第2代学院長日下晃先生、現学院長大河原量先生のリーダーシップのもと、教職員、学生、保護者の方々、そして卒業生が心をあわせ協力し合い、大学10学部17学科、短期大学部7学科、大学院7研究科を有する女子総合大学に発展しています。2019年には本学の母体となる武庫川学院の創立100年に向けた

「MUKOJO Vision」を公表し、「一生を描ききる女性力を」育むため、更なる発展に向けて歩みを進めています。

今後、皆さんはさまざまな分野で活躍されることでしょう。そしてその先々で成長するためのあらゆる挑戦の場に遭遇するでしょう。それらに果敢に挑み、克服し、更なる自信としてください。それが、武庫女ビジョンに謳われる「一生を描ききる女性力を」育むことにつながります。

また一方で、皆さんは、武庫川学院の同窓会である鳴松会の会員になります。会員数はいまや19万人に達し、各々が立学の精神や教育目標を体現し、社会や家庭にあって、お互いに手を取り合い、周囲の人々に手を差し伸べ、自立した個性豊かな女性として日本全国、また世界各地で大いに活躍されています。皆さんも明日からはその一員として後輩たちの良きロールモデルとなってください。そして、今後も母校をお訪ねいただき、ご活躍の様子をお聞かせください。卒業生の活躍は、私達教職員全員の大きな誇りです。

本日をもって学生時代は終わりますが、学びはこれで終わりではありません。学びは一生続きます。むしろ皆さんの真価が問われるのは、これからの学びです。すべてを学びの機会ととらえ前進を続けてください。

最後にあらためて保護者の皆さまのお力添えに心より感謝を申し上げるとともに、卒業生の皆さんの社会でのご活躍とご健勝ご多幸をお祈りし式辞といたします。

令和3年3月21日

武庫川女子大学

学長 瀬口 和義

